

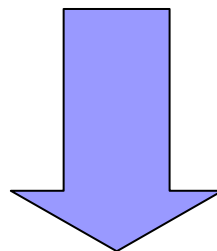


シアトル視察報告書

静脈物流の集約が東京23区にもたらす可能性



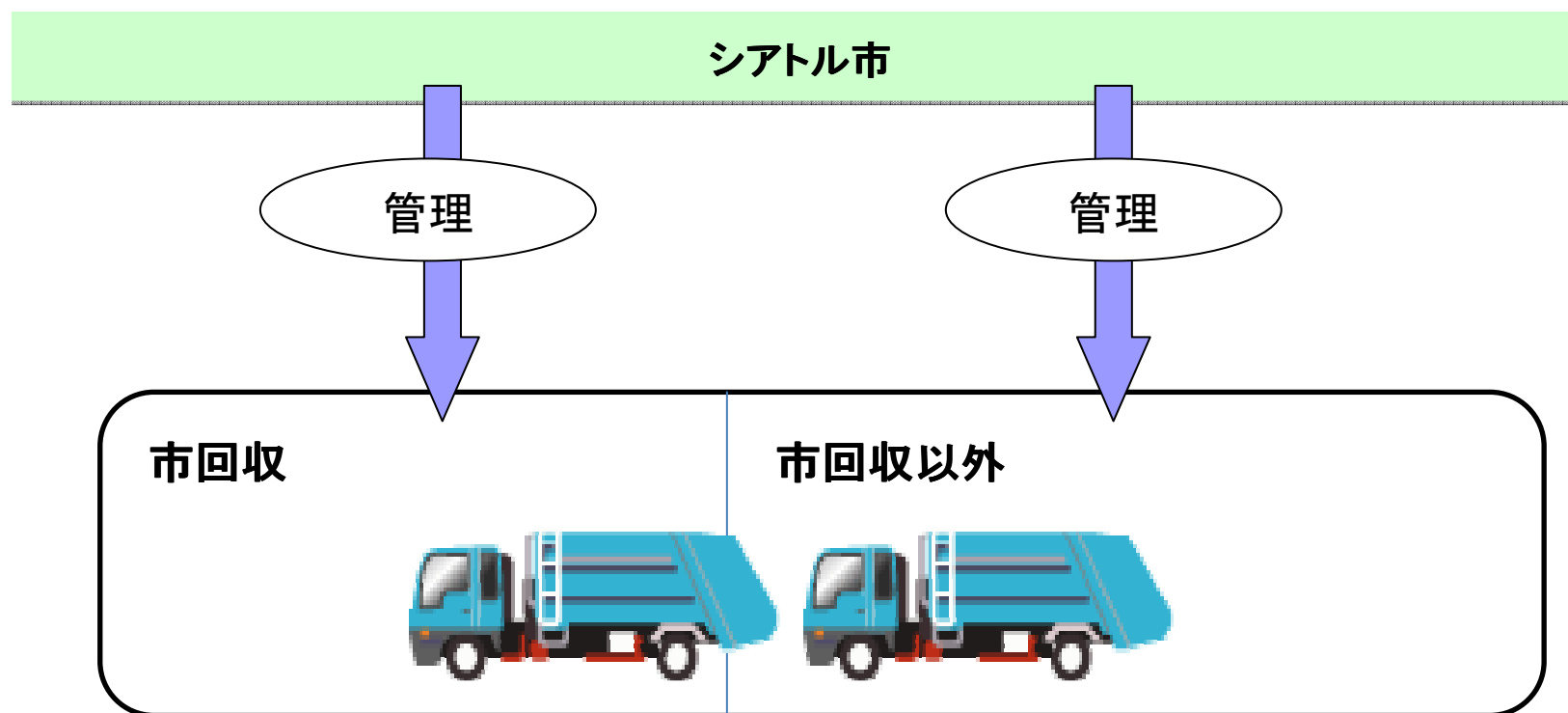
白井グループとしては、
シアトルの廃棄物物流の仕組みを
東京23区にも導入したいと考えている。



その仕組みとは？

1. シアトル市による廃棄物マネジメント

シアトル市は家庭系・事業系両方の廃棄物の物流を管理しています。



2. シアトル市のペナルティ・インセンティブ制度

ペナルティ: 罰金

ミスをしたらシアトル市が業者に対して請求する罰金

【回収漏れによるペナルティ】

- ・回収漏れ \$ 100 - \$ 200 (回収容器または大型コンテナ1台につき)
- ・特殊な回収漏れ \$ 100 - \$ 200 (24時間以内に対応しなかった場合)
- ・住宅における年3回の回収漏れ \$ 500 (住宅1軒につき)

【過積載によるペナルティ】

- ・積載制限違反 \$ 250 (1回につき)

【回収マナーによるペナルティ】

- ・回収指定時間の何時間もの差異 \$ 250 (1回につき、トラック1台につき1日 \$ 1,000が限度)
- ・2度の苦情受付後の不十分な対応 \$ 300 (1回につき)

【ごみ箱の配送によるペナルティ】

- ・新しいごみ箱の配達ミス \$ 50 - \$ 100 (回収容器または大型コンテナ1台につき)
- ・破損回収容器の交換ミス \$ 50 - \$ 100 (回収容器または大型コンテナ1台につき)

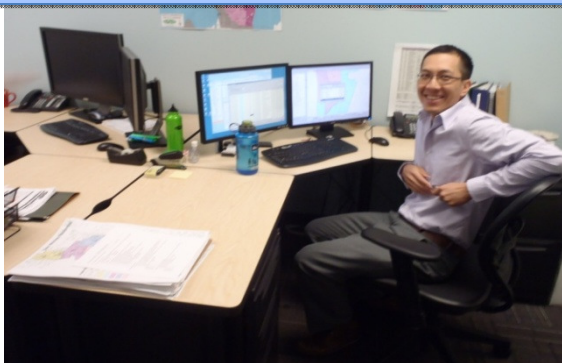
インセンティブ: 報酬金

良い取り組みに対してシアトル市が業者に支払う報酬金

- ・回収ミスは発生率0.1%を基準にそれより良ければ報酬金を貰える。
 - ・コールセンターが受話器を取るまでの時間は80～90%を1分以内にとすること。
- 90%以上1%毎に4半期毎1,000ドル(10万円)の報酬金がもらえる。

シアトル市の収集運搬会社は、ペナルティを減らし、インセンティブを増やすために主に4つの取り組みをしています。

①シアトル市内の道路の管理



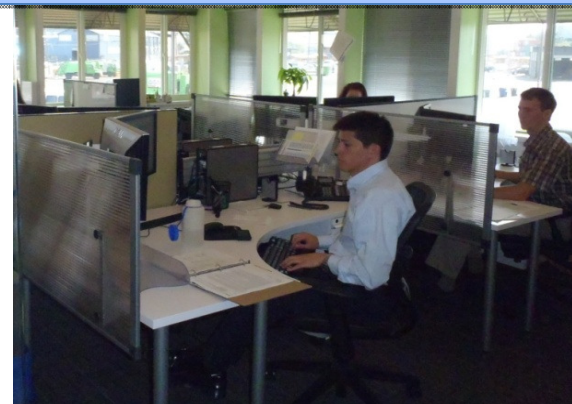
③ドライバーへの安全管理の指導



②1台当たり7台のカメラとGPSの設置



④自社のコールセンターの運営



3. シングルストリーム

資源ごみを無分別でまとめて回収して、リサイクル施設で機械選別・手選別を行う。



シングルストリーム



Recyclable waste

- ・古紙
(段ボール・新聞等)
- ・ビン(ガラス)
- ・缶(スチール)
- ・ペットボトル
- ・プラスチック

資源を無分別
1台の車で
まとめて回収
→回収効率UP

リサイクル施設へ運び
自動選別機＋手選別
でマテリアルごとに分別を行う。

4. 独占的営業権

シアトル市は廃棄物収集運搬業者を2社に集約しています。

事業系の資源ごみだけ自由競争。

市回収



市回収以外



2社

《1990年代までのシアトル市の廃棄物物流》

かつては市回収を除き自由競争だった。

市回収



2社

市回収以外



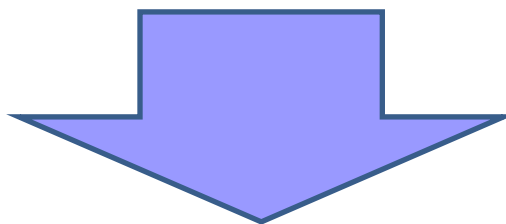
自由競争

【問題点】

- ・サービスの低下
- ・処理コストの上昇
- ・労働組合の反発

シアトル市の廃棄物物流の仕組み

1. シアトル市による廃棄物マネジメント
2. シアトル市のペナルティ・インセンティブ制度
3. シングルストリーム
4. 独占的営業権



成果

- ①物流効率などが10～15%改善
- ②物流コストの削減
- ③廃棄物料金の低価格化
- ④サービスの向上

シアトル市の廃棄物物流の仕組みを 東京23区に導入すると？

自治体が管理

・一般廃棄物



家庭ごみは指定業者に委託

排出事業者が管理

・産業廃棄物・資源ごみ



自由競争

自治体が管理

・一般廃棄物

・産業廃棄物・資源ごみ

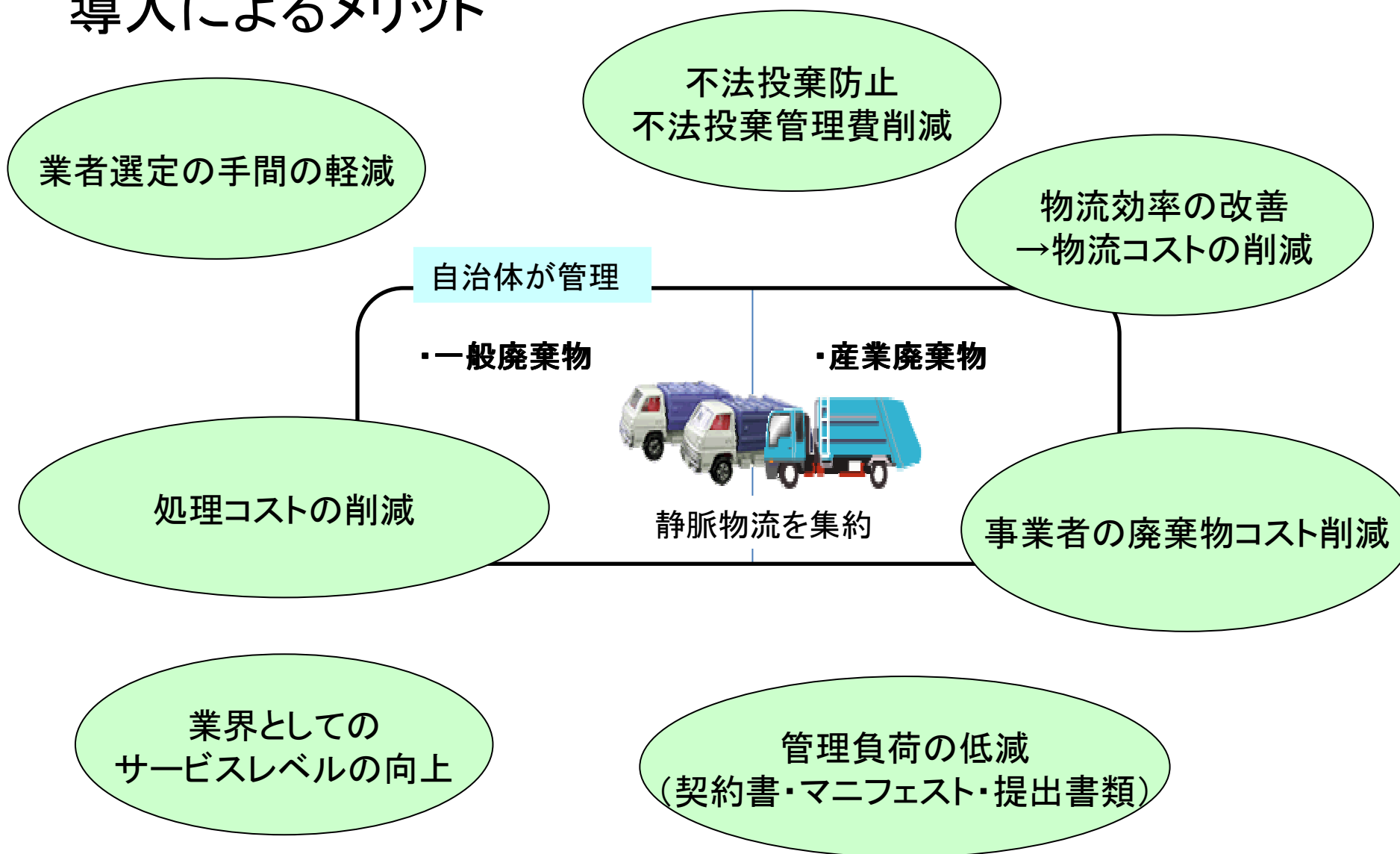


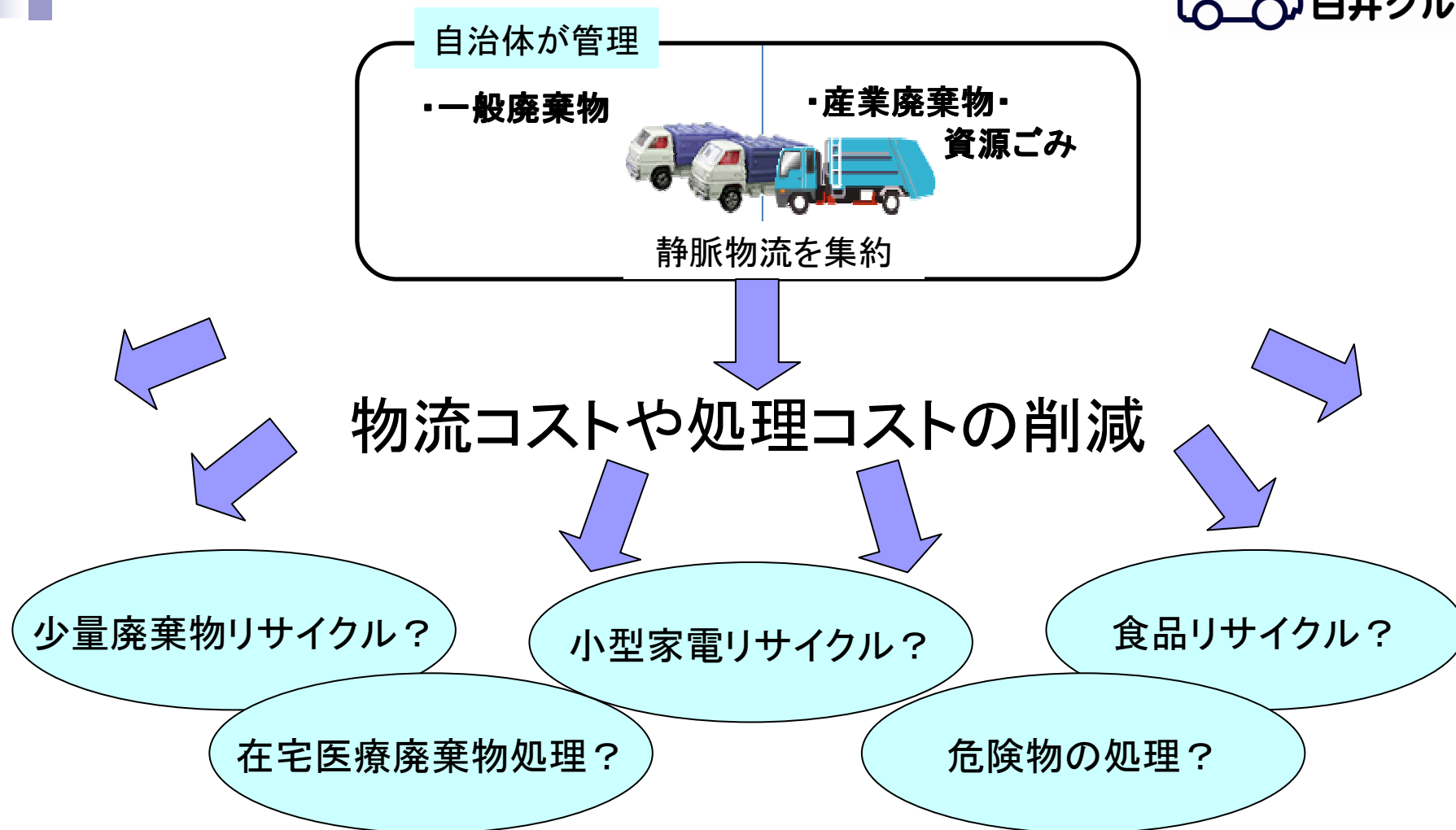
静脈物流を集約

導入のポイント

1. 自治体による廃棄物物流のマネジメント
2. 独占的営業権
3. 一般廃棄物と産業廃棄物の区分を見直し効率化する。

導入によるメリット





静脈物流の集約が東京23区にさまざまな可能性をもたらすと考えられます。

今後の白井グループ

シアトルにおける廃棄物物流の成功事例をもとに、
ぜひともシアトルの廃棄物物流の仕組みを東京23区
でも導入できるように今後も働きかけていきたい。

